

まちセンおおだ

No.235

発行 大田
まちづくりセンター
(TEL.82-6240)

印刷 株急行印刷
(TEL.82-9595)

第39回

まちセンおおだまつり

3月12日(日)に「第39回まちセンおおだまつり」が開催されました。今年は9時に煙火火花が上がリ、450人弱の人で賑わいました。小学生の親子を募集して実施した「和菓子作り」が大盛況でした。和菓子作りのお手伝いをしていただいた町内のボランティアの方に感想を聞いてみました。



まちセンまつりが開催され、出雲の坂根屋さんが来られて和菓子作りがありました。

午前と午後に分かれて2回、参加者は当日参加も含めて32組の親子で友達同士・家族での参加もありました。



最初に坂根屋さんから、「和菓子の事を知っていただけますか?」と聞かれました。小学校低学年の男の子が、「日本のお菓子です」と答え「そうだね、

日本のお菓子だね」と言われ、その後坂根屋さんから和菓子について説明があり、今日は春にちなんだお菓子として「山笑う」と「佐保姫」の2種類を作ることになりました。餡は白・ピンク・緑・黄と用意しておられて、一人ひとりお皿に餡を入れてもらい、最初に練り切り餡の白を使ってお団子にし、それを伸ばして中に緑の餡を入れてお団子にして、上3か所に小さく丸めたピンクの団子をのせ少し



回りを伸ばしてお団子にラップをかぶせて茶巾絞りのようにして、3本の指で摘み「山笑う」が出来上がりました。「佐保姫」は桜の花をイメージして道具を使ってお団子を5等分にして花びらの型にしたリ、花の中央に裏ごしをした黄色の餡を包み入れることが難しいのではと見ていました。が、小さな手中で上手に餡を包み入れ、楽しそうにワクワクしながら取り組んでいました。1時間くらいで2個の素晴らしい生菓子が出来上がりました。坂根屋さんからケースをいただいて、自分の作品をケースに入れて持ち帰ることにしました。

最後に坂根屋さんから、「今までとは違ってこの生菓子はどんな風にして作ってあるのか、生菓子をみる目も違ってくると思います」と言っておられました。参加された方からは「楽しかった」「また「良かった」「また挑戦してみたい」という声が多くありました。(M・Y)



夕焼小焼

▼春を迎え卒業と入学、また就職と出会いと別れの季節となりました。3月17日、大田小学校6年生の卒業式に学校運営協議会の委員として出席させて頂きました。卒業生84名の入場から始まり、一人一人名前が呼ばれると元気いっぱい「はい」の返事と礼儀正しく卒業証書を受け取っていました。また卒業生全員が6年間の学校生活の思いを言葉にして表現され感動しました。校長先生のお祝いの言葉の中に、「仲間を大事にしなさい、特に学び舎を共にした同級生を大事にしなさい」と話されていたのが印象に残っていました。仲間を大事にすることは自分が辛い時、苦しい時には必ず仲間は助けてくれるから……。▼WBC優勝を成し遂げた侍ジャパン監督、また選手のコメントにも「仲間」のワードが多く使われ改めて感銘を受けたところで。皆さん「仲間」は家族と同じように大事にして下さい。(敏)

職員紹介

原 敏彦(センター長)
釜田 彰(1日職員)
小林 美鈴(1日職員)
渡邊 悦子(半日職員)
半日職員に、新しく渡邊さんを迎え、私たち4人は心と力をもつにして頑張ります。
皆様方のご支援何とぞよろしくお願い申し上げます。

おたまとろく通信

大田町社会福祉協議会

3年ぶりのサロン「きがるにおしゃべり会」

殿町

殿町高齢者サロン「きがるにおしゃべり会」を3年ぶりに行うことができました。3月18日、春の息吹を感じる午後、慈雲寺の本堂に60代から90代の16名が集いました。

コロナ禍になる前は、慈雲寺の本堂や近くの代官山や市民公園などに集い、弁当を食べながら親睦を温めていましたが、コロナ感染の広がりの中では集うことができませんでした。やっとコロナ感染が収まりつつあり、寒さも和らいできたので声をかけあい集うことができました。

今回は「とのまち・今昔よもやま話をしましょう」と呼びかけて集い、久しぶりですから近況を一人ずつ語ってもらいました。近所に住んでいる者同士であっても、「へえ知らなかったわあ」「そうだったん」とか、「あんたも耳が遠なつたかな?」「まだかばちはたつが足がちよつとなあ」などなど、みんなが我が身を語りました。

今昔よもやま話は、90歳を超えた方の話に耳を傾けました。小学校

6年生の時のことを思いだし、旧制大田中学校では1年生の肝試し行事があったそうでそれをこっそり見に行ったと。南の宮から出発し、妙光寺、大願寺、明善寺、慈雲寺の裏山の尾根道を辿って、才峠神社が終点。寺町通りは大田農学校までで、才峠に通じていなかったそうです。終点近くには屠場がありました。真っ暗闇の4つのお寺と屠場を身近に感じながら1年生の肝試しがあったと。

他の方からもおもしろい話がありました。字数制限のため割愛します。

世の中は変わりますが、世代を超えてつながり合う中で地域生活の歴史も語り継がれるよいおしゃべり会でした。



大田町民児協だより 52 大田町民生委員・児童委員協議会

前主任児童委員

山内光枝

児童の幸せを願って

この時期になると思い出します。小学校入学、中学校卒業する時、地域で紅白のあん入り餅をつき、お宮で祝ってもらったことを、この年になっても鮮明に覚えています。

大田に嫁ぎ、子ども達が2才になると、母と子の公民館活動に参加し、手作りおもちゃ、野外活動、子育てについての話し合いなどなど。

また自治会活動では、テレビ塔、三瓶山のハイキングなどに参加し、地域の方々のおかげで出来た子育ては、思い出いっぱいです。

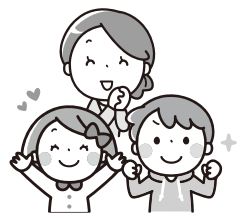
民生委員は児童委員を兼ねることになっていますが、児童虐待、非行、いじめ、不登校等と児童を取り巻く生活環境が複雑かつ多様化し、専門的に対応するため、平成6年に主任児童委員が制度化されました。

10年前その主任児童委員にこの話があり、地域で沢山お世話になっていたので引き受けました。毎月定例会、学校関係の連絡会、公園の点検、子ども達の見守りなどの活動に参加し、その中で私が一番心に残っているのは、中学2年生と赤ちゃん

との交流会です。最初は、もじもじしている生徒、赤ちゃんを抱いているお母さん。時間がたつと共に、抱っこしたり、おもちゃであやしたり微笑ましいとつても良い空気感となっていきました。中学生の優しさに、ホッとさせられました。

私の大好きな絵本の裏には、「世の中を美しく、住みよくする力は、まず人と人との愛情でありましょう。そして親と子の愛情は、だれにとつても、いちばん手近なものであります。……」と続きます。

子ども達を取り巻く環境は変わりつつありますがその都度、民生委員児童委員間で話し合い、学校、地域とのかかわりを大切に活動が出来て、私も今までに気付かなかつた事もあり、良い経験をさせて貰いました。民生委員児童委員は、百数年、主任児童委員は、三十数年続いています。この制度がとぎれる事なく続いて行く事を、心より祈っています。



第39回

まちセンおおだまつり

午後から市民会館中ホールで開催した芸能発表(ジョイフルステージ)では、センター利用団体による詩吟、コーラス、ミュージカル、よさこい踊りが披露され会場を盛り上げました。参加された団体の方に感想を聞いてみました。

ジョイフルステージに参加して

女声コーラス
花音

女声コーラス花音です。水曜日の夜と木曜日の午後に練習をしています。ジョイフルステージには初めて参加しました。

1曲目は作詞…

瀬戸内寂聴、千原英喜の「愛から悩みが生まれ」を歌いました。これは6月のお母さんコーラスの県大会で歌う曲で、まだまだ練習不十分でしたが、皆様の前で歌わせて頂き、県大会に向けて良い機会となりました。

2曲目は昨年度の県大会で歌った、山崎佳代子作詞の「出発」を歌いました。

ソプラノ、メゾソプラノ、アルトの3パートのハーモニーが合うと素敵な響きのあるメロディが生まれます。なかなか難しいですが



これからも素敵なハーモニーを目指して頑張ります。当日は皆様の前で歌う緊張感と仲間と一緒に歌える喜びを感じつつ楽しむことができました。ありがとうございました。ありがとうございます。一緒に団員を募集しています。一緒に歌いませんか。

笑
和
なごみ

かじの あかり

(参加当時小2)

まちセンまつりのジョイフルステージで「よさこい」をおどりました。「へいわ」と「えにし」と「はじまりはしまね」という曲をおどりました。

たくさんのおきやくさんや、友だちの前でおどるのは、きんちゅうしたけれど、たくさんれんしゅうしたので、上手におどれました。「よさこい」のほかにも、ダンスや歌のはっぴょうがあつて、とっても楽しかったです。また来年もあつたらステージでおどりたいと思います。ありがとうございました。



風花

詩吟愛好会





大田まちづくりセンター

各種講座案内



講座名	内容	参加対象・人員	開催予定	時間
子ども手芸教室	作品作りを通じて手作りの楽しさを味わいます	小学生 25名 材料費 1,000円	5月から2月迄 計10回 原則、毎月第3土曜日	午前10時～ 午前11時30分迄
俳句教室	初心者入門コース	一般 20名	5月から3月迄 原則、毎月第3金曜日	午後1時30分～ 午後3時30分迄
PPバンド教室	雨に強いPPバンドのカゴ作り	一般 10名 要材料費	6月1日から、計5回 毎週木曜日	午前10時～ 午後12時迄
陶芸教室	陶芸の楽しさと仲間づくり	一般 10名 要材料費	5月から、毎週火曜日 (10回)	午前10時～ 午後12時迄
古典文学講座	『枕草子』を楽しく学ぶ	一般 30名 要資料代	5月から、毎週火曜日 (10回)	午後7時～ 午後8時30分迄
門松作り	玄関内に飾れるような「小振りの門松」を作成	一般 10名 要材料費	12月25日(月)	午前10時～ 午後12時迄

*各教室ともに、定員になり次第、締め切らせていただきます。

*希望者が少ない時は、取りやめる場合があります。

*開催場所は、大田市民センターです。

お問い合わせ・申し込み先は、

大田まちづくりセンター(☎82-6240)迄

案内

「大田町防災講座」 の開催について

令和5年10月に、大田市消防本部に「耐震車」が巡回してくることに伴い、各自治会で「防災講座」を開催される希望があれば、大田まちづくりセンターが共催で実施しようと思います。

各自治会で、この機会に講座開催を希望される場合は、大田まちづくりセンター(☎82-6240)迄連絡をお願いします。



大田町社会福祉協議会へ
ご寄附ありがとうございました
地域福祉のために
使わせていただきます

★香典返し(3月分)

宮島 小林 千代子様
(夫 勉様)



◆5月～6月の主な行事◆

5月

3(水)～5(金) 祝日(休館)
16・23(火) 陶芸教室
19(金) 俳句教室
20(土) 子ども手芸教室
23・30(火) 古典文学講座

6月

1・8・15・22・29(木) P Pバンド教室(予定)
6・13・20・27(火) 陶芸教室
6・13・20・27(火) 古典文学講座
16(金) 俳句教室
17(土) 子ども手芸教室